



令和6年度 加賀市長からのメッセージ 第011号 12月20日配信

加賀市は幼児教育から高等教育に至るまで、様々な教育改革を進めています。

小学校、中学校では、「BE THE PLAYER」のスローガンのもと、誰一人取り残さない「ひとりひとりの子どもが主役」の自由進度学習や「不登校支援プラン」を推進し、多様な学び場や居場所を作っています。最近では、教育関係者をはじめ、メディア各社などたくさんの取材や問い合わせがあり、市の改革への注目が高まっていることを実感しています。

先日、加賀市でSTEAM（スティーム）プレゼンテーション大会が開催されました。STEAM教育は科学、技術、工学・ものづくり、数学、芸術の英語の頭文字をとった言葉で、この5つの領域を中心に論理的思考力や問題解決能力を育てていくものです。大会では児童・生徒が自分たちで発見した課題やその解決方法を考え、実際に取り組みを進めて学んだことを発表してくれました。発表の内容も大人が驚くような視点のもの、あるいはプレゼンテーション力の高さが素晴らしい生徒など、その様子に感心するとともに、加賀市の子どもたちの成長する姿に感銘を受けました。

市内児童・生徒を対象にしたアンケート等から「学校に行くのが楽しい」という声が確実に増えていると聞きます。何をやるにも「楽しい」という気持ちに勝るものはなく、この不透明な時代において、主体性をもって自分で未来を作るためには、この気持ちがなによりの原動力になると確信しています。

今週末は先月市内で開催された「加賀ロボレーブ国際大会」のドキュメンタリーが放映されます。こちらも活躍する市の子どもたちの姿をたくさん見ることができると思います。是非ご覧ください。

子どもは宝、加賀市の未来。変わっていく姿、楽しく元気に学びを進めている姿を描きながら、職員一同でよりよき施策を進め、精一杯の支援を継続していきます。

(令和6年12月20日号)

加賀市長 宮元 陸